

教えて！！漢方&鍼灸



～東洋医学研究所の紹介～

2020 年 4 月 大学ニュース 掲載

助教 津嶋 伸彦

皆さん、こんにちは。東洋医学研究所です。

東洋医学研究所は、平成 4 年 3 月に創立後、平成 19 年 11 月まで新宿 NS ビル、令和元年 6 月まで田端駅前で診療を行っておりました。令和元年 7 月に河田町の南館 1 階に移転して現在に至ります。場所は女子医大新校舎・彌生記念教育棟の道を挟んだ若松河田駅寄りにございます。



東洋医学研究所はれっきとした診療施設で、漢方部門（保険治療）と鍼灸部門（自費治療）に分かれています。漢方部門で取り扱っている愁訴は例を挙げるときりがありませんが、慢性的な疲れ、冷え性、風邪を引きやすい、免疫力をアップしたい、不眠、ストレス、イライラ、頭痛、めまい、肩凝り、腰痛、関節痛、慢性疼痛、食欲低下、お腹の不調、生理痛、月経前症候群、更年期障害、頻尿、皮膚病、癌の術後に伴う症状、加齢

に伴う症状などです。

患者さんの年齢は 30—50 代を中心に、0 歳から 90 歳以上に渡っており、女性が約 7 割を占めています。

鍼灸部門の患者さんも女性が 7 割以上で、50 代が最も多く、肩凝り、腰痛などの整形外科的な愁訴が多いのですが、当鍼灸部門では顔面神経麻痺にも力を入れており、たくさんの患者さんが受診されています。



教えて！！漢方&鍼灸



「こんな症状だけど診てくれるかな」「検査しても異常はない患者さんだけど紹介してもいいのかな？」何か気になることがあれば一度門を叩いてみてください。ともに考え、少しでもお役に立てればとスタッフ一丸お待ちしております。



■ [東洋医学研究所ホームページへ戻る](#)